

令和6年度 神代中学校 美術科 第3学年 年間指導計画・評価計画

月	領域	題材名	時間	目標	学習内容	観点・評価基準	評価材料
4	絵画	新しい視点 透視図法	19	○顔や手の表情がもたらす効果による全体のイメージなどを捉え、仏像彫刻の特色やよさや美しさに関心を持ち、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。	○夢、想像や感情などの空想や心に広がる世界などを考えたり広げたりしながら主題を生み出す。 ○主題を基に新たなことを想像したり、さらに組み合わせたりしながら構想を練る。 ○絵の具などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。 ○自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、根拠を明らかにして意見を述べたり批評したりする。	(知識・技能) ○ 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、具体物や抽象的な物の組み合わせなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ○ 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 (思考・判断・表現) ○ 空想や心に広がる世界を基に主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ○ 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) ○ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に空想や夢を基にした心の中の世界から構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業の取り組み ・作品 ・ワークシート ・提出物 ・定期テスト
5							
6							
7							
9							
10							
11	工芸	伝統に生きる 篆刻	6	1○篆書体で表現することに関心を持ち、書体の効果を考え、材料や用具の特性を生かし自分の表現方法を追求して表現する。	○篆書体や漢字のもつイメージなどから主題を生み出す。 ○機能と造形的な美しさとの調和を総合的に考えて構想を練る。 ○素材や用具の機能面としての特性を生かしながら創造的に表す。 ○自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合う。	(知識・技能) ○ 形や色彩の構成、石の質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や染色の技法などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 ○ 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 (思考・判断・表現) ○ 構成や装飾を基に、使う場面や飾る場所、イメージなどから主題を生み出し、形や色彩、染色の技法の効果から美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。 ○ 身に着けたり空間を飾ったりする物の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) ○ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に形や色彩、染色の技法の効果から美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に身に着けたり空間を飾ったりする物の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業の取り組み ・作品 ・ワークシート ・提出物 ・定期テスト
12							
1	デザイン	人が生きる 社会と未来 ピクトグラム	10	○公共的なサインについて機能や見たり、使ったりする人の心情や安全性などを考えて主題を生み出し、意図に応じて見通しを持って表す。	○表示としての機能や見たり使ったりする人の心情や安全性などから主題を生み出す。 ○多くの人が共通して感じる使いやすさや機能と造形的な美しさとの調和を総合的に考えて構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら、見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友達の作品を鑑賞し、生活を豊かにする造形や美術の働きについて考え、意見を述べ合う。	(知識・技能) ○ 形や色彩、材料、光などの性質、それらが感情にもたらす効果や、空間や機能など造形的な特徴などを基に、道を全体のイメージなどで捉えることを理解している。 ○ 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 (思考・判断・表現) ○ 道としての機能、通る人の心情や安全性などから主題を生み出し、形や色彩、材料、空間などの効果や美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 ○ 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) ○ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に通る人の思いなどを考えて道をデザインする構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業の取り組み ・作品 ・ワークシート ・提出物 ・定期テスト
2							
3							